くまもと障害者労働センター通信

ウィズ ～ともに～

WITH

2013年度
第３号
2013.10.23

おれんじ村

発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター　〒861-8039 熊本市東区長嶺南１-５-４０
TEL：０９６-３８２-０８６１　FAX：０９６-２８５-７７５５

天草！海鮮丼!!!海水浴!!

８月２日、労働センターみんなで天草まで行って来ました。毎年日帰り旅行は一大イベントです。何か月も前から幹事を選び、アンケートと多数決で行く先を決め（多数派工作がオリンピック誘致なみにし烈とか…）、どこで何を食べるかでまたアンケートを取り、満を持して迎えたこの日は絶好の晴天！熊本県身体障害者福祉センターから親切な運転手さん付きでお借りしたバスと、おれんじ村の車に分乗して、楽しい海を満喫しました。

２０年ぶりの天草

久島 雅樹

私は、天草まで行くのは実に２０年振りでした。養護学校を卒業して、苓北の授産施設に入所して、印刷の仕事をしていたのです。

熊本から松島まで、２時間の乗車は少し疲れました。お昼ご飯を食べに『福伸』に寄って、海鮮丼を食べましたが、旨かったです。

それから、海に移動して、海水につかっていましたが打ち寄せる波が強くて座位を保つのが大変でした。それからしばらくして、浮き輪をつけて足がとどかない所まで泳ぎました。その後、砂浜にあがっていたら、砂に埋められました。

結構重かったですよ。楽しい天草の旅となりました。残りの人生でもう海水浴に行く事はないでしょうね。

新名 弥生

行事では雨が多い労働センターですが、この日は快晴！「Ｔｈｅ☆夏」って感じの１日でした。海で、大学生のようにはしゃいで泳いだことも、もちろん楽しかったです。しかし、私の１番おたのしみはそう、海鮮丼食べること！ それも、ただの「海鮮丼」ではありません。「特上」です。熊本に来て８年、天草で海鮮丼を食べる日がくるなんて。日帰り旅行の行き先を決めるアンケートで、場所ではなく「海鮮丼」と書いただけありました。若干、車酔いした私でしたが、キラキラと光るイクラ、ウニ、エビ達を見てテンションが上がり元気になりました。他にもエビ天丼や、イクラ丼などがありましたが、やっぱり特上海鮮丼が輝いてみえました。新鮮なお魚やっぱりおいしいですね！！おいしいものを食べるみんなの顔は、いつもよりいい顔をしていました。たまには仕事のことを忘れてみんなでおいしいものを食べてゆっくりお話しすることも大切だ！と改めて感じた一日でした。今度は、何を食べに行きましょうか。

センターからの（毎月あらわします）
お・ね・が・い
その1 今年こそ海に行きたい！

毎年、暑い時期が来ると、ほとんどの作業をしていると、そんな事が出てくるのですが、今年は早くも出ました。
でも、センターだけでいっぱい問題にされより、できればどこかと交流を進めて行ったらと思いますが、もっと、いろいろ行けたらどこかそんな計画をしていきますので一緒でもいいよ、という方がありましたら、参加申し込みください。

※編 座

みんなで遊んで盛りあがったので楽しかったです。先生が誘れて来ている女の子から超こされたので泣きべそかいてみんなに笑われました。海で泳いで波がきて泣くてまた泣きました。またみんなに笑われました。海がとっても奇麗でした。しかしとても勉強になりました。またキャンプに行きたいと

２５年前は…「With」で、センターの歩みを学習しました。

労働センターでは時々全員でいろいろな学習会をします。先日はずっと以前の「With」を使って労働センターの歩みを学習しました。1990 年の夏には、海に行きたいけど自力では行けないので、どこか一緒に誘ってくれませんか、と呼びかけていて、どうやら海に行けたようです。その他にも、センターは地域のたくさんの方々とともに歩んできたことを改めて感じました。

【～共同連全国大会 in 新潟 報告～】

髙村 恭弘

新潟に、着いて初めに驚いたのは、信号機が縦になっていたことです。ドライバーさんに聞いたら新潟は大雪で見れなくなるからということです。

ホテルに荷物を置いて、会場に行きました。ご飯を食べようと思ったらレストランも開いてなかったのでパンとお茶を飲んで13時～の全体会に。今回の大会は音もしない、静かな全体会でした。

記念講演は、立岩さんの話で今の日本型現状を分かりやすく説明してくれました。消費税の話は納得しました。シンポジウムのコーディーネーターは花田先生で、パネラーは白杉さん、石澤さん、伊藤さん。3人とも、共に働き、共に生きる共同連に、これまでの活動を通して、これからの人達にどう伝えていくべきなのかということを言われました。岩手、北海道、愛知、熊本3ヶ所からも、共に生き・共に働くことを実践報告がありました。そして、これからどう売り上げを伸ばしていくのかを話してました。

松村 紀幸

共同連初日の朝は初めてだったのでどういう事をするのか？誰が何をどんな風に伝えるのか？とかそういうことを考えながらワクワクしました。

それでその気持ちのまま、熊本から飛行機に乗り、大阪の伊丹空港で乗りかえて、新潟に着いたら、ワクワクが消えて、緊張がちょっとずつ増えていきました。それでユニゾンプラザに着いて、人がいっぱいだったので、記憶がなくなるのかな？と思っていました。そして、共同連の大会が始まり、話をちゃんと聞いていてもほとんどが分からなかったです。半分くらいして途中からすごくフラフラしていたけど、話を最後まで聞いとかなきゃと思ったので、休憩になる時まで聞きました。

1 日目で思った事は、1 日目の講演がほとんど分からなかったので、どれくらい分かるか分からないけど、話していた人の言っていた事を勉強をしなきゃいけないな思いました。

2 日目に思った事は、第6分科会で参加している人達の話しを聞いたりしたけど、すごくフラフラしてちょっとしか参加が出来ませんでした。おれんじ村の人がいなくてもフラフラしても参加したいな思いました。あと1つ、この**6分科会がまたあったら友達を作りたい**と思いました。

3 日目は佐渡で「たらい舟」ちょっとだけ漕ぐのを体験してちっとも動きませんでした。

野尻 健司

今回の共同連大会は、全体会で**自分の想いを発表してくる**ことが大きな使命でした。400名ほどの人を前に、自分の想いを表現するという初めての体験は、予想以上の緊張で本番数日前から、眠れない日々（？）が続きました。正直に言うと、共同連大会は真面目な全体会でも会場内は元気な声（叫び声）が飛びかい、いつも賑やかであんまり聞いている人も少ないので大丈夫だろうと高を括っていました。しかし、今回の全体会は本当に共同連大会だろうかというぐらいに、いつになくみんな静かに話を聞いていて、順番が近づくにつれ緊張していました。また、全体会の司会者が、「本日のトリをかざるのは…」との紹介で緊張は最高潮に。もう逃げられないと決意し壇上に上がると、やっぱり逃げ出したくなりました。壇上に上がる前に、斎藤縣三さんから「時間がおしているから 10分で。言いたいこと全部いったら時間がないので、伝えたいこと一つだけでいい」と言われていたので、がんばって事前に準備していた内容から、本当に自分が共に働くことで大切にしていることを話してきました。上手く話せたとは言い難いですが、想いだけは伝わったかな。話した内容は会場で聞いた人だけ…。と言いたいとこですが、そんなにたいした内容でもないので簡単に言うと**「障害のあるなしにかかわらず共に働くということは、一緒に働くだけでなく、一緒に物事を決める。要するに対等な関係で共に経営を担っていくこと。」**なのかなぁと思っています。口では簡単ですが、実際は健常者中心の能力主義の中で育ち生きてきた僕にとっては、なかなか乗り越えられないのが現状です。

少しは大会のことも書かないと、研修費を返せと言われそうなんで、ちょっとだけ書いときます。

記念講演の立岩真也さんは、学生時代に『生の技法』や『母よ殺すな』の解説など、著書をよく読んでいました。そして何よりもこの 2 冊は、自分の持つ価値観を大きく揺さぶられた本であり、お話を聞けるのを本当に楽しみにしていました。講演は「共同連のやっていることは基本的に正しいが難しい」と言う内容で、「でも、できないことはない」ということだったかなぁと思います。

シンポジウムの中で話された障害者福祉、制度がない中で共同連運動を創り上げてきた実践については、時代も障害者の置かれている状況も今とは大きく違えど、自分自身のかかわりが問われたように思います。

生活困窮者自立支援法について、ここは共同連が今一番取り組んでいるとこなんで、がんばって伝えないといけないんですが、まだまだ勉強不足できちっと伝えられないので今回はやめときます。（障害のあるなしだけでなく、他の働く場から排除されている人も含め新たな働き方を提案する取り組みです。）もし、聞きたいとの声があれば、勉強してWITHにでも掲載しようかなぁと思います。

最後に、
いつも何で共同連大会に参加するんだろう？

毎年起こる大事件（生卵、魔法の手、救急車出動、部屋閉め出し、どこまでも続く坂道など）、交流会に出し物、2 次会 3 次会そしてディズニーランドなどなど、全体会に分科会と参加もままならないほどのタイトなスケジュールで、熊本に帰ってあるものは、無事に帰れた安堵感とありえないほどの疲れ（帰った次の日は一日中寝ている）だけ。それ

でもなぜ？ 共同連大会に参加する人は、障害のあるなしから、性別、年齢、国籍など様々な立場の人がいて、そして、障害者差別を始めあらゆる差別を許さないという人、共同連についてよくわからないが居心地がいい、共同連は楽しいなど参加する理由も様々です。でも、根本は同じような気がします。参加者みんな立場は違えど、一人の人間として尊重され、地域の中で働き生きるという当たり前のことが当たり前にできる社会を求めています。だからこそ、共同連大会に参加することで安心と居心地の良さ、そして多くの同じ想いを持つ人たちと互いに存在意義を確かめ合い認め合い、ほんの少しの勇気と元気を得ることができるのです。そのために、僕は参加するのだろう。

田尻 明美

土曜日に全国大会が３０日にあり勉強会をして私は少し難しかったけど楽しく面白かった。いろんな人がいましたので話しをされました。

夜に交流会があってわっぱの方も来ていました。私はホテルに帰りました。

日曜日は朝からホテルからまた勉強会に行きました。みんな別々の分科会にしました。私たちは、松尾さんと５階の会場で話し合いをしました。二人ずつとか４人で自己紹介をしました。６人になってお菓子を出して机を二つ並べて感想を書きました。

終わって、３時から佐渡に行った後に食事がありました。その後、仮家に行ってそこで寝ました。月曜日は朝からわっぱの人たちを送ってから、その後私たちは、観光しました。たらい舟に乗りました。

土曜日の夜インベーダ踊りは、楽しかった。みんなの顔が面白かった。この 3 日間こういう交流をしたり、お菓子を作ったりしたいとおもいます。

倉田 哲也

ＣＩＬ新潟 山内さんからの報告

「下半身マヒ電動車イス」の男性　2007 年 7 月 16 日の新潟県上越沖を震源とす地震が起き、当時、山内さんは佐渡に家族と住んでいました。佐渡は障害者か自立生活が出来る環境が進んでいない状況です。ただ地域とのつながりが強いそうです。地震があった時も山内さんは自宅に居て、家具などが倒れて、身動きが出来なったそうです。家族や近所の方が何とか外に出してもらえたそうです。また、地震で停電になり近所の方が自家発電機を持って来てくれたそうです。同じ地域には人工呼吸器を使って生活している方がおり近所の人たちもその方の事を知っていたので、直ぐに自家発電機を持って来てくれたそうです。佐渡は農家が多いので、自家発電機を持っている家庭が多かったそうです。また避難所になっている学校には障害者用トイレやスロープもないので、仕方なく自宅に帰られたそうです。現在は新潟市内で自立生活をされています。

この分科会で学んだ事は障害者が地域の中で生活している事を地域の方に知ってもらう事と避難所はバリアフリーにしておく事が必要だと思いました。

実習生が来ましたよ。

労働センターでは研修や実習を積極的に受け入れています。９月には錦ケ丘中学校１名、熊本支援学校１名、熊本県立大学２名の方々が来られました。以下、感想をお届けしますね。

3 日間、大変だったが楽しかった。せいぞうでサーターディーアンダーギーをつくった。まるめたZE☆うまくいった☆

はんばいは、江原中、にしきがおか中でかりんとうに力を入れた。オススメは？って言った。かりんとう全品うれた。さーたーあんだぎーも完全にうれた。よくやりましたというコメントをします。

カフェでの仕事はしょくひんはいぜんがくろうしました。

No.1 楽しかったのは、いどうはんばいかな！またがっこうでもやってみようかな!?

『ＵＨＢテレビ日本』こと錦ケ丘中学校・井出

介護等体験を終えて　　**熊本県立大学 西村綾乃**

1 週間という短い期間でしたが、くまもと障害者労働センターで介護体験をさせていただきました。初めは、障がいを持つ方とのコミュニケーションが難しく感じましたが、お菓子の製造、販売、ＯＲＡＮＧＥ ＣＡＦＥのお手伝いをさせていただく中で、次第に緊張がほぐれて、楽しく活動できました。

言葉・思いを伝えることの難しさもありましたが、伝わったときの喜びもとても大きかったです。共に働き、共に生きる環境がくまもと障害者労働センターにあり、このような環境がより広がっていけば良いなと思いました。この貴重な体験の中で、とても多くのことを学ぶことができました。健常者と障がい者という枠にとらわれない活動を体験することでき、視野を広げることができました。この体験を生かして、今後、色々な人と活動していきたいです。ありがとうございました。

熊本県立大学 池田

一週間ありがとうございました。皆さんとても優しくて、何も心配することなく実習することができました。製造、販売、カフェの運営に携わらせて頂きました。どの部署でも１人１人が責任を持って働かれていました。私もこの実習で一緒に働くこと共に暮らすということについて考え、とてもいい刺激になりました。皆さんも元気で温かい、とってもすてきな職場です。本当にありがとうございました。

唐津からの見学！

９月のことですが、佐賀の唐津社協さんのご紹介で、唐津市のボランティアグループ「古代の里鏡会」さんが見学にこられました。

なんと、ウェブサイトを見て選んで頂いたとのことで、IT 部としてはとてもうれしい出来事でした。当日は１４名の方に、おれんじ村、ＯＲＡＮＧＥ ＣＡＦＥでお話をさせて頂きました。私たちの『共に働き、共に生きる』実践が、少しでも古代の里鏡会のみなさんの、今後の活動に役立てると嬉しいです。

唐津だけにおさまらない好奇心を私たちも見習って、外にも、もっともっと目をむけていこうと思いました。みなさんのますますのご活躍をお祈りいたします。

よい出逢いに期待します。

～共同連九州ブロック結成にむけて～

ということで、最近労働センターでは、「共同連の仲間を増やそう」と、九州内の共働の場や市民運動をしている事業所を訪れて、お誘いのアピール行脚をしています。

目標は、共同連の九州部会を作ることです。まだはじめたばかりですが、これまで関係のあった団体さん、はじめてお会いする団体さん、いろんな出会いがあります。

また、今回の WITH には共同連大会の感想特集を組みました。次号以降もう少し共同連について詳しくお伝えしたいと思います。

ORANGE CAFE おれんじかふえ 通信 宵CAFE、その後の巻

笑顔×2

宵CAFEと命名して、4月から現在まで、ちょうど半年になりました。毎回10名様以上のご来店があり、わきあいあいと楽しい時間を過ごす事ができています。野菜を中心にしたヘルシーな料理をバイキング方式で提供させて頂いて、お客様にも好評です。(ありがたい!!)ぜひ、1度ご来店いただいて、宵CAFEの雰囲気と料理を楽しんいただけると嬉しいです!!

※以下お客様の声をお届けします。

「あっとホームでとてもいごこちがいいです。メニューも野菜たっぷりでヘルシーなので気に入っています。」　Hさん

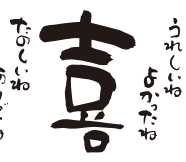
「障害を持ってて一人暮らしですが、外に夕飯食べにいく事があんまりなかったんで、気軽にこれるところができてうれしいです。ご飯だけでなく、夜遊びにくる感じなので、助かっています。」　Sさん

最高の笑顔×2

NEW! 2014年版 筆あそびカレンダー おれんじ村の詩

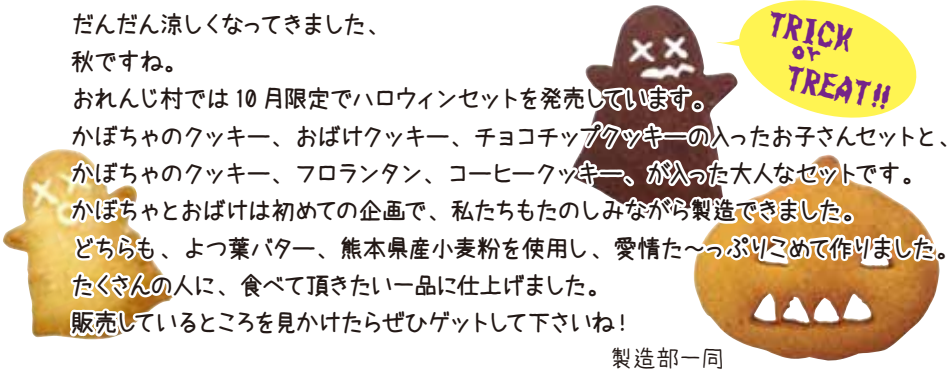
手すき紙パックリサイクル紙使用。

今年もあと3か月。
はやいもので、来年のカレンダーを販売する時期になりました。
今年も人気の高かった筆文字のリバイバルです。
労働センターからの言葉をお届けします。
おれんじ村オリジナル月めくりの卓上カレンダー
宜しくお願いします m(..)m



紙のみ　900円
板付き　1260円
紙の大きさ：100mm×148mm

NEW! HAPPY HALLOWEEN in ORANGE-VILLAGE vol.2 ハッピーハロウィン in おれんじ村



だんだん涼しくなってきました、
秋ですね。
おれんじ村では10月限定でハロウィンセットを発売しています。
かぼちゃのクッキー、おばけクッキー、チョコチップクッキーの入ったお子さんセットと、
かぼちゃのクッキー、フロランタン、コーヒークッキー、が入った大人なセットです。
かぼちゃとおばけは初めての企画で、私たちもたのしみながら製造できました。
どちらも、よつ葉バター、熊本県産小麦粉を使用し、愛情た～っぷりこめて作りました。
たくさんの人に、食べて頂きたい一品に仕上げました。
販売しているところを見かけたらぜひゲットして下さいね!

製造部一同

お礼とお願い

私たちの共働事業は、障害のある人もない人も一緒に働いて、厳選した材料を使用し、安全なお菓子を製造し、皆様のお手元へ届けることで成り立ちます。

この3か月で、延べ648か所の事業所やイベントで販売をさせて頂きました。紙面上ではありますが、厚く御礼申し上げます。いつもごひいきにして頂き、ありがとうございます。

今年度、後半戦は、ハロウィンセットとカレンダーから始めます。そして年末には、クリスマス、冬ギフトを企画しています。魅力的な製品をご提供できるように努力していきます!! チラシなどおみかけになったら、ぜひお買い求めくださいね。

製造部＆販売部

編集後記

こんにちは、金森です。本格的に電動車いすに乗り始めて、半年たちました。だいぶ慣れたので、そろそろカフェまで一人で行けそうです（これまでは先輩に付きそってもらっています）。あともう少し慣れたら、父を説得して電動で通勤が出来るようになりたいです。そのためには父の心配をふきとばすぐらい運転が上手になりたいと思います。あと僕は、一人暮らしも考えています。今は、実家で暮らしているので、家族と相談中です。

さて、今回の「MIE」いかがでしたか？僕的にはハロウィンセットがおすすめです。ぜひ！。

IT部　金森